

★えんがる 議会だより



この道の先にある未来に向けて 遠軽瀬戸瀬インターチェンジ
開通記念ウォーキング

ごみ焼却施設年末に完成！ P 2
 平成29年度予算審査特別委員会

今年の予算、何に使うの？ P 4
 予算審査特別委員会一問一答

平成29年第2回町議会(定例会) P 12

町政を質す！一般質問

常任委員会レポート P 14

えんがる話・編集後記 P 20

平成29年度一般会計予算

焼却施設年末に完成！

**新年度予算審議
予算審査特別委員会を設置**
(今村則康委員長)

平成29年度遠軽町一般会計を含む7会計の予算については、議長を除く15人の議員で予算審査特別委員会を設置し、3日間にわたり審査した結果、本会議において全会一致で可決しました。

**合併10年経過後から開始する
地方交付税減額措
置に一定の歯止め**

歳入

「一般会計」は、町の基本的な仕事をするための予算で、皆さんから納めていただいた町税や国や道から入ってくるお金が主な財源になっています。

前年度と比較して5億7千2百万円の減となっております。その主な要因として地方交付税と町債

(事業を行うため町がする借金)の減、が挙げられます。

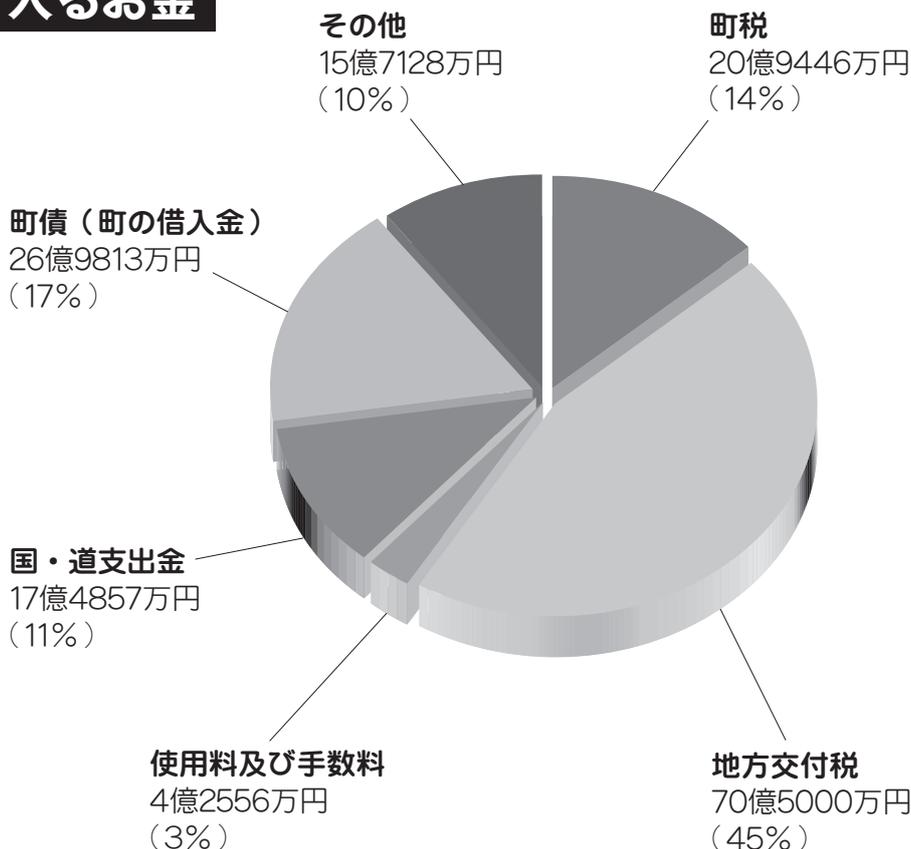
地方交付税については合併団体に上乗せする特例(合併算定替え)の縮減に伴う減で、町債については昨年度「えんがる球技場」が完成したことによる借入れの減です。

155億8800万円



ごみ焼却施設年末に完成！
写真は2月27日現在

入るお金



ごみ減量化を期待

焼却施設建設に伴う遠軽地区広域組合負担金（補助費）が増加

歳出

歳出は前年と比較し、歳入と同じく5億7千2百万円の減となっています。その主な要因として、普通建設事業費（公共事業）、公債費（借金の返済）の減によるものです。普通建設事業費は、歳入の町債と同様に大型事業が完了したため減少したものです。

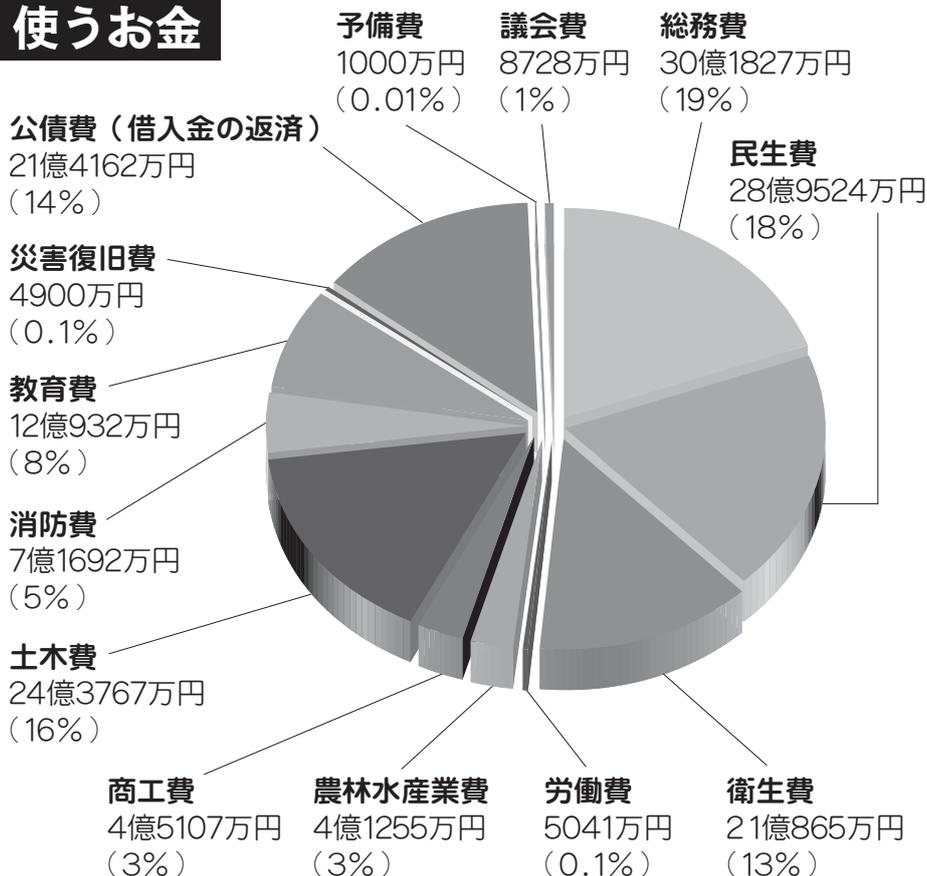
相対的の歳出は減少してありますが、増加した経費もあり、そのうち補助費は、遠軽地区広域組合に対する負担金（ごみ焼却施設整備事業により増加し、繰出金は土地開発基

金に対する繰出しの減少によるものです。

〜一口メモ〜
補助費とは…？
町から他の地方公共団体（道、市町村、一部事務組合など）や民間に対して、行政上の目的により交付するものです。具体的には例示しますと、講師謝礼等の報償金、火災保険料等の保険料、委託料、寄附金、地方公共団体が受ける公課（租税以外の公的負担）などがあります。

一般会計 予算総額

使うお金



予算、何に使うの？

※質問は主なものを要約して掲載しています

総務部



- (仮称)町民センター整備関連経費……2億5601万円
 - ・基本・実施設計業務委託
 - ・旧遠軽中央病院解体工事等
- 道の駅整備事業……1億9365万円
 - ・大型車庫建設工事
 - ・外構整備等
- 町民憲章碑改修工事……128万円
 - ・役場庁舎前の碑を改修
- ジオパーク解説板等設置事業……215万円

解体される旧中央病院



跡地の活用は

一宮龍彦



財産管理費

町有財産の管理について

旧東社名淵小学校・旧いわね福祉ホームの解体工事の規模は、また、取壊し、解体後の土地の利用等はどのような計画になっているのか。

情報管財課長

旧東社名淵小学校は510㎡、旧いわね福祉ホームは430㎡です。解体後の利用計画は決まっています。



今年度の催行は

稲場仁子



企画費

企画一般経費 モリス・バムディカルツアーリズム 平成29年度は実施しないのか

予算の計上がないが、事業は実施しないのか。また、平成28年の実施状況はどうだったのか。

企画課長

平成28年度は、実行委員会の設立とツアーの設計・モニターツアーの実施、ガイド養成及びホームページの作成を行いました。平成29年度は、町外者向けのツアーの計画とモニターツアーを当面、自主財源で実施する予定です。



様々なシーンで活躍

秋元直樹



書費

広報紙発行事業 ドローンの運用方法は

広報紙発行事業でドローンの購入を予算化しているが、他の事業への活用は可能か。

また、災害時の利用も想定しているか。

広報紙発行事業以外では、災害時の利用を含め、公用(町の事業)でのみの使用を考えています。



多様なニーズに対応

佐藤 昇



書費

広報紙発行事業 ホームページの充実は

昨年3月の一般質問の際、動画の配信、多言語変換については今後取り組むとの答弁がされているが、新年度予算に反映されているか。

企画課長

動画の配信は、ビデオカメラを購入し対応します。多言語変換は、既存の外部サイトにある翻訳機能を利用し対応します。

新年度予算審議

今年の



民生部①

○地域医療対策事業……………1億9748万円

- ・丸瀬布厚生病院医師配置負担金
- ・丸瀬布厚生病院損失負担金
- ・病院群輪番制病院等運営事業補助金
- ・丸瀬布厚生病院補助金（病院建設償還金）
- ・小児救急医療支援事業補助金 など

○ごみ収集事業……………1億3389万円

- ・ごみ収集委託料
- ・印刷製本費（ごみ分別の手引き） など



○高齢者総合生活福祉センター（白滝）改修
工事……………8000万円

- ・LED化及びスプリンクラーの設置



安心できる暮らしを提供

○デイサービスセンター（ひまわり）空調設
備改修工事……………299万円



快適な空間を提供

○北海道家庭学校施設整備補助金 1426万円

- ・平成28年度に新築した自立援助ホームの建設費に対し補助



健康は家族のために

阿部君枝



予防費

健康診査事業
各検診の受診率状況は

結核検診・基本検診・がん検診等の他、特定検診の受診状況と今後の取り組みはどう進めるのか。

保健福祉課長

特定健診については、平成20年度の24・2%から、平成27年度は49・9%と倍以上になっていきます。今後も保健師等による地道な受診勧奨等を行います。



完成予想図

山谷敬二



芥費
塵処理

ごみ収集事業
なぜ「ごみ分別の手引き」？

予算増額で「ごみ分別の手引き」が計上されているが理由は、また、ごみ運搬車が古くなったと思うがいかがか。

住民生活課長

新しいごみ焼却施設稼働に伴い、ごみ分別の一部が変更となるため「ごみ分別の手引き」を作成し、全戸配布します。ごみ運搬車は、今後更新等を検討します。

町民の安全・安心は？

※質問は主なものを要約して掲載しています

民生部②



- 介護人材育成事業……………100万円
・介護職員初任者研修費用を助成
- 福祉バス運行委託……………316万円
・町民の利便性を確保
- 高齢者のりもの乗車助成事業……………607万円
・70歳以上のバス及びハイヤー利用料を助成
- 妊産婦交通費等助成……………78万円
・町外における妊婦健診交通費等を助成
- 介護保険利用者負担軽減制度事業……………200万円
・低所得者に対して特別養護老人ホームの利用者負担分を助成



町民の「足」を確保する

人材を確保せよ

佐藤 昇

社会福祉
総務費



民生委員協議会事業
民生委員確保に向けた取り組みは

高齢化に伴い、民生委員の確保が困難になりつつあるが、今後、確保に向けた具体的な方針は、

保健福祉課長

民生委員は、地域住民にとつてなくてはならない存在ですので、自治会の皆さんと協力して後任者の確保に努めます。

- 生活安全灯改修工事……………2496万円
・遠軽、生田原、白滝地域

- みなみ児童館屋根改修工事……………655万円

- 歯科診療所訪問診療用治療ユニット購入
174万円

- ごみ焼却施設整備事業……………9億3104万円

- 個別排水処理施設整備事業（特別会計）
9480万円
・個別排水処理施設整備（合併処理浄化槽）
工事30基



埋立地は有限

山谷敬二

芥
塵
処理費



ごみ処理場管理事業
ごみ焼却施設はいつ稼働

今の施設が廃止になり、新施設が利用できるのはいつか。

それにより、旭野最終処分場はいつまで使えるのか。

住民生活課長

新しいごみ焼却施設は、平成29年10月より試運転を開始し、平成30年1月稼働を予定しています。最終処分場は、延命対策を行っており、できる限り長く使えるように取り組めます。



公共施設のあり方を問う

松田良一

社会福祉
施設費



福祉センター管理事業
生田原福祉センターの今後は

生田原福祉センターの使用料歳入予算が12万円という利用者の少ない中で、同センターの老朽化により維持管理費が増加すると思うが、今後はどうするのか。

生田原総合支所長

同施設は、地域の要望もあり現在も使用しています。大規模な修繕が発生するまでは、地域と協議しながら使用していきたいと考えています。

観光・林業は？



経済部①

- 遠紋地域人材開発センター実習棟等改修工事 2779万円
 - ・屋根張替及び灯油タンク設置
- 畑地帯総合整備事業……………1909万円
 - ・安国地域の農業用排水及び区画を整理
- 小規模土地改良事業……………3450万円
 - ・野上及び上白滝地域の農地保全対策工事
- 道営草地整備事業……………1250万円
 - ・草地起伏修正
- ピアノの森看板設置工事……………200万円
 - ・丸瀬布太平及び上丸にある町有林に看板を設置



稲場仁子



観光費

観光一般経費 シーニックバイウエイの今後は

現在、シーニックバイウエイの候補ルートとなっているが、本ルートとして登録の見込みはどうか。

商工観光課長

本ルートの登録に向け、関係9市町と連携して花観光や食などの情報発信に取り組んでいます。

(注) シーニックバイウエイとは、シーニック(景色の良いところ)とバイウエイ(立ち寄る)を組み合わせた造語です。

- 道路橋りょう維持事業……………6億7317万円
 - ・橋梁長寿命化工事(遠軽共和橋、生田原中央橋)
 - ・橋梁点検業務委託
 - ・湯の沢橋解体工事
 - ・中通排水整備工事 ほか
- 道路新設改良事業……………2億4557万円
 - ・40号線踏切仮設道路整備工事
 - ・岩見通道路改良舗装工事
 - ・南町4丁目通道路改良舗装工事
 - ・南4丁目通道路改良舗装工事
 - ・南ヶ丘4号通道路改良舗装工事
 - ・南1丁目中通道路改良舗装工事
 - ・旭川紋別自動車道遠軽IC補償工事負担金 ほか



岩澤武征



光施設費

ちやちやワールド管理事業 子どもの遊び場専用

雨の日でも子どもが遊べる施設が欲しいという子育て世代の声にこたえて、遊び場にはどうか。

生田原総合支所産業課長

利用者のアンケートにもそのような意見があり、今後検討します。



奥田 稔



林業費

町有林整備事業 アカエゾマツの植林で活性化を

農政林務課長
オホーツク総合振興局 北見木材株式会社及び町で『ピアノの森』協定を結んでおり、アカエゾマツを含め林業全体の振興を図るため、上丸・大平の町有林に看板の設置をし、将来に向けた取り組みとして考えています。

ピアノの森の看板設置の目的及び設置場所は、アカエゾマツが大変不足し、ピアノのけん盤、経木、うすかわ業者が困っている。他自治体に先駆け、町有林などに植林し、将来の活性化に繋げるべきではないか。

安全な道の整備は？

※質問は主なものを要約して掲載しています

経済部②



- 除雪対策事業……………3億9622万円
- 除雪ドーザ購入……………5266万円
 - ・生田原地域 ドーザ ローター除雪装置
- 街路新設改良事業……………2476万円
 - ・3・4・10南ヶ丘歩道整備工事
 - ・3・4・3 役場通交通バリアフリー歩道整備工事
- 公園緑地維持管理事業……………2069万円
 - ・大通公園パーゴラ移設工事
 - ・大通公園植栽工事



生田原地域の除雪で活躍！
長い間お疲れさまでした

- 町営住宅建設事業……………4億2621万円
 - ・山の手団地公営住宅長寿命化事業
 - ・やまなみ団地公営住宅建設事業

企業会計

水道及び下水道事業

- 水道管布設工事等……………1億4780万円
- 水穂水道施設整備工事……………3300万円
- 安国浄水場建設工事……………1300万円
- 遠軽下水処理センター長寿命化事業
4億4000万円
- 公共下水道工事……………1億9890万円



魅力を発信

黒坂貴行



観施設費

ふるさと公園管理事業
道の駅管理事業について

瀬戸瀬ICの開通に伴い、利用者減が懸念されるが、木芸館等施設の活用と新たな取り組みは、道の駅の本来の機能である休憩施設の充実と土足で入館できるように内部改修を行うとともに、展示コンセプトを見直し集客を図ります。

丸瀬布総合支所産業課長



雪国の宿命です

竹中裕志



道路橋梁維持費

除雪対策事業
ノースキングの除排雪

周辺は公共施設も隣接し、宿泊・レストラン・温泉等の冬期利用者の利便性も十分に考慮の上、降雪時の除排雪は適切な対応を。

生田原総合支所産業課長

除排雪については、利用者の利便性に配慮し対応を検討します。

女性の活力が必要



松田良一



業費
農振興

農業関係団体助成事業
女性農業団体活動に支援を

これからの農業、地域づくりや活性化には、女性の元気な活力が不可欠である。そのためには、より一層の支援をすべきではないか。

農政林務課長

女性農業団体『きらめく翼』は、これまで町の支援により道外視察等で研さんを重ね、農業体験・民泊等の6次化の芽が育ちつつありますので、今後も町として協力したいと考えています。

こどもの未来は？



教育部

- 教育用 I C T 機器整備 (デジタルテレビ) 1530万円
・大型デジタルテレビを全小学校に整備
- 小中学校机・椅子購入事業……………1561万円
・小学校330台、中学校175台
- 小中学校図書購入事業……………1199万円
・充足率向上のため各校に配備
- 丸瀬布小学校改修工事調査設計業務委託……………600万円
・耐震改修調査
- 丸瀬布中学校トイレ改修工事……………517万円
・洋式化 1階4か所、3階3か所



学び舎を補強!

- 南中学校給食室空調設備設置工事 843万円
- 生田原学校給食センター空調設備設置工事 1361万円
- 丸瀬布生涯学習館外壁改修工事 725万円
- 東体育館トイレ改修工事……………221万円
・洋式化 男1か所 女1か所
- えんがる球場内野グラウンド改修工事 1485万円
- 生田原球場芝張替工事……………450万円
- えんがる球場備品購入……………622万円
・メンテナンス用トラクター等
- えんがる球技場備品購入……………1117万円
・メンテナンス用トラクター等
- 瀬戸瀬パークゴルフ場拡張事業 1174万円
・増設設計業務及び用地購入



ジムが好評!
体育協会ホームページより

一宮龍彦



体育施設費

温水プール管理運営事業 温水プール使用目的について

2階トレーニングルームの利用者増加により、トレーニングマシンの増設をする予定であり、現在のスペースでは不足をきたすため、1階を利用することのことが、水泳プールを利用している方々に影響は出ないか。
社会教育課長
現在、体育協会と水泳協会が協議中と聞いています。教育委員会としては、正式に自主事業の計画提出があれば、水泳施設としての主目的を外れない範囲で判断します。



雪解けが待ち遠しい

竹中裕志



校費 学建設費

小(中)学校建設事業 グラウンド整備について

長い冬を室内で過ごした児童・生徒にとって、雪融けは待ち遠しいものです。現場状況をみながら、可能な限り、早期に適切な整備を。
教育総務課長
グラウンドの状況も確認し、ゴールデンウィーク明けには、グラウンド整備を実施します。



慎重な対応を

奥田 稔



校費 学管理

小学校管理一般経費 フッ化物洗口は父母、生徒、先生の理解のもとで

フッ化物洗口のため冷蔵庫を購入するところがあるが、フッ素化合物は劇薬指定で、使う側も先生も不安がある。先生は忙しい中で、さらに洗口のためにこの仕事が増えるのは大変だ。いつからどう進めるのか。
教育総務課長
実施時期は未定ですが、フッ化物の洗口液は、学校では調合せずに洗口用として薄めたものを購入することを考えており、実施に当たっては、教職員、保護者の理解のもと進めていきます。

の定数減 18人から16人に 賛成多数で条例案可決

議員定数減 条例案審議

第2回定例会に遠軽町議会の議員の定数を定める条例の一部改正案が議員提案により提出され、本会議で採決した結果は、次のとおりとなりました。

○提出者等議員
提出議員
黒坂貴行、阿部君枝、高橋義詔、岩上孝義、秋元直樹、竹中裕志、今村則康、松田良一

○結果
提案者の黒坂議員に対する質疑及び討論を経た後、起立採決により賛成多数で可決

○一部改正内容（趣旨）
平成25年の選挙において、結果的に欠員となる事態が生じた。さまざまな町民の意見があつたなか、議会改革活性化特別委員会において2人を減員し16人とすべきという報告を受け、本条例案を提出する。本会議の討論は次のとおり行われました。

今村則康議員



賛成

議員にとって最大の権限と責任は、議決権の行使にあります。

議員は、町民の声などから到達した結論を町政に反映させ、適正に判断するための審議方法にも着目しなければならぬ立場にあります。

町民の声を広く聴取する力を身に付け、政策立案能力を高めることが議会改革につながるものと考えます。

我々議員は町民の痛み

や現場職員の苦悩を重んじれば、まず、我々議員が先んじて痛みを受け、さらに切磋琢磨することが、町民の負託に答える議員の姿勢であると確信しています。

町民の痛みや町職員の苦悩を理解しよう、共有していこうとする心と、それを具現化しようとする態度なしにどうやって町民の皆様と向かい合えるのでしょうか。

7か月後に控えました、町議会議員選挙は狭き門となります。

しかし、あえて自ら厳しい選択をすることが、たゆまぬ努力、惜しまない議会の姿勢を示すことにより、町民、遠軽町議会議員とともに、一丸となって遠軽町政を前進させなければなりません。

よって、議員定数を2

人減じて、16人とする原案に賛成するとともに、賢明なる議員諸氏の、ご賛同をお願いいたします。

岩澤武征議員



反対

この問題は、議会を活性化するためには、どうするかという議論の中で出てきたものです。

遠軽町は12年前に4つの自治体が合併したもので、面積は広く現在もお、それぞれの地域の特長があります。

そこで、本件について4つの観点から簡潔に述べたいと思います。

① 議員を減らすことが議会の活性化につながるのかという問題です。

論

熱

次の選挙から議員

3 議員が討論を行い、



人口減少の激しい地域から、議員が出ることが難しくなります。

議会の構成として、4地域から議員が出ることが出来る条件を残しておくことは、地域の問題が的確に議会に反映され活性化につながります。

② 新しい議員の誕生が難しくなり、若い人が議員に挑戦する機会を掴み取るようになります。

新しい人材が入ることによって、活性化されると考えます。

③ 現在は、3つの常任委員会で運営をしていますが、所管の容量から5〜6人での審議が適切であり、現状維持すべきです。

④ 議会は民意を反映させ町民の利益、福祉の向上を図ることが目的です。

議員の数が多くの方が多くの民意を反映することができます。

議会の活性化は、議員一人ひとりの日常的な町民とのつながりで生まれるものであると考えます。

以上の観点から18人を維持することが議会にとって、必要であると考えます。

竹中裕志議員



賛成

先の遠軽町議会選挙では1人が法定得票数に足らず、当選されることなく、17人での議会構成でスタートしました。

その後、同僚議員が亡くなられたことにより、現在の議員16人となりその中で、ご指導、ご協力をいただき活動してきました。



本議会は、会派を結成し運営されており、個々の事例は捉え方が多少異なります。

しかしながら、最終的には、町民のための議員であることは共通していると改めて痛感しているところです。

私は総務・文教常任委員会に所属しており、議員活動で、町内小中高の学校行事で、ご案内がある限り、出席させていただき、地域活動や町内の各種団体等との交流にも積極的に参加させていただいております。

会社員のころとは違い、多様な方々との出会いを大切にしてきたことにより、町全体の議員としての自覚を持って活動をする自信が生まれてきました。人口減少とか、時代の

これまでの経過

流れなどの思いではなく、16人の議員がそれぞれ町全体の議員としての自覚を持って成せば、議会活動は十分に足りうると思えるところであります。よって、私は議員2人を減する本案に賛成します。

平成17年の町村合併時は、「市町村の合併の特例」を適用せず、合併協議によって合併前の合計51人を減員し、26人から始まり、選挙区に関する特例も適用しませんでした。その後、平成21年6月に現在の18人となり、議会改革に取り組んできました。

平成25年10月の遠軽町議会議員選挙においては、67・93%という投票率の中で、法定得票数（168・02票）に満たない候補者がでたことにより、結果的に欠員となる事態が生じ17人でスタートしました。そして、一昨年1人逝去され現在の16人となっています。

平成28年度予算の補正 国の補正予算等に対応

平成29年3月開催の第2回定例町議会は、7日に招集され17日まで11日間の会期で開催し、冒頭、佐々木町長と新山教育委員長から施政執行方針の表明がありました。

審議案件の主なもの、表彰2件、条例制定2件、条例の一部改正10件、平成28年度一般会計などの補正予算6件、平成29年度各会計予算7件、請願1件、追加議案3件が提出され審議しました。

主な内容

補正予算

平成28年度遠軽町一般

飲料水確保のためのボーリングに対する助成です。

○除排雪経費

8827万円

○社会教育振興補助金

300万円

各種大会参加のための補助金です。

○生田原小学校耐震改修工事

8010万円

○安国小学校耐震改修工事

5070万円

○道営草地整備事業負担金

2418万円

○3・6・9岩見通道路改良舗装工事

4910万円

○ふくろ団地公営住宅建設工事

1億9022万円

いずれも国の予算補正に伴う増額補正です。

205万円

○のりもの乗車負担金

59万円

町民の利用の増加に伴う負担金の増額です。

○飲料水確保事業補助金

75万円

ついて、原案のとおり可決しました。

◎社会功労（公共のため30万円以上の寄附をした個人）

・東京都渋谷区

井門義博様

（森林公園いこいの森災害復旧資金）

・東京都杉並区
岩崎正敏様

（森林公園いこいの森災害復旧資金）

条例制定

◆遠軽町農業委員会の委員の定数を定める条例

農業委員会等に関する法律の改正に伴い定めるものです。

◆遠軽町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例

情報通信の技術を利用する方法により行政手続等を行うため、条例を定めるものです。

（全会一致可決）

条例改正

◆遠軽町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

◆遠軽町特別会計条例の一部改正

◆遠軽町税条例等の一部改正

◆遠軽町保健福祉サービ

◆遠軽町介護保険条例の一部改正

このほか5条例の一部改正案の提案がありました。

（全会一致可決）

請願

◆議会報告会の開催を求める請願書

請願者「町民にわかる議会運営」を求める町民有志の会（紹介議員 岩澤議員）

議会運営委員会に付託し閉会中の審議となりました。

表彰

遠軽町表彰条例により、次の方を表彰することに

意見書可決

—国や道及び関係行政庁へ意見書1件を提出—

議員提案により意見書案が提出され、可決し関係省庁等に送付しました。※内容は要約しています。

無料公衆無線LAN（Wi-Fi）環境の整備促進を求める意見書 提出者等 阿部君枝議員 ほか4人

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、通信環境の整備が課題となっています。

インバウンドの増加だけでなく、災害時における通信手段の確保にも大きく貢献することから要望します。

- 1 鉄道・バス等の公共交通機関やホテル・旅館等の宿泊施設などの民間施設に対する整備支援事業を一層拡充すること
- 2 日本遺産・国立公園等の観光拠点等における

環境整備を促進し、観光地の機能向上や利便性向上を図ること。

- 3 防災の観点から、避難所・避難場所の学校市民センター、公民館等の防災拠点や、博物館・自然公園等の被災場所として想定される公的拠点への環境の整備を行う地方公共団体に対して、財政的支援措置を導入すること。



平成29年第1回町議会（臨時会）

完全復旧に向け全力

平成29年第1回遠軽町議会（臨時会）は2月8日に開かれました。

案件は災害復旧費の予算補正1件で、昨年8月下旬の3つの台風災害に係る工事費用等の確定に伴う、一般会計予算補正の提案がありました。また、次の行政報告がありました。

- ① 白滝ジオパークが再認定。
- ② 高齢者等の見守り支援に関する協定及び災害時の物資供給及び店舗営業の継続又は早期再開に関する協定を締結。
- ③ 埼玉、神奈川県内を運行するJRの車両で広告媒体を活用し、医師募集の周知を実施。
- ④ JR北海道問題について、国、国会議員及び道に対し維持・存続の要望活動を実施。
- ⑤ 昭和39年東京オリ

ピックの際、植樹された展示林の活用を検討する「1964東京オリンピック遠軽町展示林活用検討会議」を設置。

主な内容

補正予算

◆平成28年度遠軽町一般会計補正予算（第11号）
歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ7838万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ178億9824万円としました。（主な歳出内訳）
○災害復事業 7838万円

昨年8月に発生した、台風災害に係る復旧工事等の費用です。

申込みは不要です。どなたでも参加できますので、お気軽にお越しください。



議会報告会及び意見交換会を開催します

5月14日（日）

*時間 14:00~16:00

*場所 遠軽町基幹集落センター
(遠軽町東町2丁目2番地59)

■議会報告会

平成29年第2回遠軽町議会（3月定例会）の主な報告

■意見交換会

町の将来に向けた、みなさんの「声」をぜひお聞かせください。

問 遠軽町議会事務局 ☎42-5800

平成29年
第1回

ただ 町政を質す!!

平成29年第2回町議会（定例会）

一般質問

今定例会では3人の議員が登壇し、多岐に渡り熱い議論が展開されました。 ※一部要約して記載

一般質問

佐藤 昇 議員



問 平成27年度における指定寄附金、ふるさと納税寄付金の合計額は、約5253万円（うちふるさと納税寄附金約2880万円）となっております。貴重な財源の一つとなっております。

今後においても、寄附をいただいた方々への親切・丁寧な事後対応を行い、より多くのご寄附をいただくとともに、更なる制度の有効活用を図るべきと考えます。

(1) 寄附金申込書における使途の項目は大きく4項目となっております。さらに別建てで「いこいの森災害復旧に対するご

支援」の呼びかけをホームページ上で行っていきますが、町の進めている重要課題（例えば町民センターの建設、ジオパークの推進など）の具体的な事業を項目に加えてはどうか。または、PRを兼ねた町の事業展開など具体的な明らかにした上で、そうした事業に対する寄附をお願いするなどの工夫も必要と考えるかがか。

(2) その上で、事業として実際に活用された使用額、経過報告、活用成果等、寄附をいただいた方々にキメ細かく文書等で個別にお知らせし

答

問

応援いただいた方に対する事後の対応をホームページなどを通じてお知らせしたい

たり、ホームページ上で明らかにするなどのフォローを行うことにより、さらに拡がりを期待できるのではと考えるかがか。

町長

(1) 遠軽町においては、昨年度の実績として2500件を超えるご寄附をいただき、また、丸瀬布森林公園いこいの森災害復旧に対しても全国の鉄道ファンやキャンプ場利用者の皆様から「遠軽町ふるさと納税寄附金制度」を活用され、70件を超えるご寄附をいただいたところですが、こうしたことから、

寄附金の使途について具体的な事業などを項目に加えることは、有効な手段だと考えていますので今後、具体的な事業について検討したいと考えています。

(2) 新たに加えた事業や、いこいの森の災害復旧に寄せられたご寄附の期待に応えるためにも、活用の成果等につきましては、今後ホームページなどを通じて周知していきたいと考えています。

再質問

ふるさと納税の27年度における使途別の実績は。

総務課長

使 途 項 目	件 数	金額(千円)
ふるさと振興資金	1,628	11,739
福祉振興資金	303	1,935
産業振興資金	258	1,790
教育振興資金	286	2,020
その他	87	11,310
合 計	2,562	28,794

再々問

自治体によっては、個別に文書で郵送しているところもあり、少の経費負担はあるが、そうしたことも考えた方が良いのでは。

町長

そのことも含めて答弁させていただきましたが、事務作業、人件費の問題もあり、さらに検討したいと考えています。

ただ 町政を質す!!

一般質問

阿部 君枝 議員



問

AED（自動体外式除細動器）
の適切な管理と表示を

答

設置場所について周知を図りたい

問

自動体外式除細動器（以下「AED」）につ

いては、救急救命で使用される際に、管理の不備により性能を発揮できないなどの重大な事態の発生を予防するため平成21年に厚生労働省医政局長等により、適切な管理方法について各関係機関に通知されております。

また、AEDの管理者が適切な維持管理の方法を理解する必要と、広く普及している現状を踏まえ、広報等の活用も検討され平成25年再通知されています。

町の各施設にAEDが設置されており、その使

い方について消防で講習会が開催されております。そこで、次の2点について町長の考えを伺います。

（1）救急救命はいつ起こるかかわからない上に、電磁パットやバッテリー等には期限があります。使用する際になって使えないのでは宝のもちくされになります。

町内のどの施設に何台あり、いつ頃の製造か、誰がメンテナンスを行っているか伺います。

（2）また、救急車の平均到着時間は8・6分と言われています。心肺

停止から1分ごとに救命

率は、7〜10%下がると聞いております。そのためにも、一元的な管理とわかりやすい表示をすべきと考えますが、町長の見解を伺います。

率

町長

（1）遠軽町が管理しているAEDは公共施設40か所に40台で、平成21年〜28年までの製造で、それぞれの施設の管

理者が管理しております。メンテナンスについては、購入先の業者、リース会社が行っております。

（2）現在、遠軽町が管理しているAEDは、総務部総務課がとりまとめをしておりますが、設

置している公共施設については、周知をしておりませんので、今後ホームページなどを通じて周知を図って参りたいと考えております。

また、各公共施設に設置している場所については、施設の管理者に、さらにわかりやすい表示をするよう指示します。

再問

厚生労働省の人口動態統計によれば、全国

の心疾患（心筋梗塞・虚血性心疾患・不整脈・心不全）による死亡者数は、年々増加傾向にあります。119番通報により救急車が到着後、AEDを

含む救急処置をするまでには、さらに時間を要することもあり、その間、時間経過とともに救命の可能性は低下することとなります。

このため、救急車の到着を待つことなくAEDを作動させることが何より重要ですが今後の町の考えは。

町長

施設の管理をしっかりと行うとともに、施設職員が実際に使えるように訓練を重ねてまいります。

大事なことは、町民の方々が講習を受けていただき、習熟することが重要であります。



高校生に対する講習会の模様

一般質問

岩澤 武征 議員



ただ 町政を質す!!

問 今、日本では子どもの貧困が深刻で、6人に1人と言われます。2月13日に発表された北海道の「子どもの貧困に関する全道実態調査」では、子育て世帯の約7割が厳しい生活をしています。貧困の解決は社会全体の課題ですが、貧困を次世代に連鎖させないという点で、子どもの貧困対策は待ったなしの課題として政治に求められています。

準要保護の入学準備金を必要とする時期に支給できないか。

文科省はこの件で「児童・生徒が援助を必要と

している時期に速やかに支給できるよう配慮するように」と通知を出しています。遠軽町でも3月支給はできないか。

教育長 文科省の趣旨は、あくまでも要保護児童生徒に限ったことで拙速に準要保護も同様にすることはできません。

問 低所得世帯の児童・生徒に対する学習支援を行っている学習センター「ふくろう」に協力を北海道の委託を受けて管内15町村活動し、遠軽では11人の小・中・高生が参加している。町では活動

場所の使用料を払っているが、無料にできないか。

教育部長 相談があれば、のつていきたいと考えています。

問 給付型奨学金について、町の貴重な人材を育てる観点に立つて経済的理由によって進学を諦めなければならぬ若者を町で応援することは家族や本人にとって希望となりますが、検討すべきではないか。

町長 奨学金を給付することは相応の財源が必要であることから、国・道

等の制度を活用し学ぶ意欲のある生徒や学生の支援を進めたいと考えています。

問 丸瀬布厚生病院無床化について

答 在宅医療の推進に取り組みます

問 丸瀬布厚生病院の地域医療活動をどのように評価し、今後の地域医療のあり方をどのように考えていますか。

町長 平成16年に現在の施設に改築されて、診療圏域を丸瀬布、白滝地域

問

子どもの貧困問題と子育て支援について

答

関係機関・団体と連携し総合的に進める

として運営されています。この間、圏域人口が1万2千人を超える時期もあり、地域住民の命を守るとともに、「養護老人ホーム緑の園」「ヒルトップハイツ」建設後は医療機関が身近にあることで入所を希望する方の選択肢の一つとなつていくことなどから、十分に評価しています。

今後の地域医療のあり方については、昨年策定された北海道地域医療構想によると医療病床の一部は在宅医療で対応しています。

しかし、遠軽地区は在宅医療の空白地とされており、そのため現在、紋別保健所が中心となって「遠紋圏域在宅医療推進ネットワーク協議会」を設置し検討を進めているところであり、本町も同協議会と連携して取り組んでいきたいと考えております。

各常任委員会で審議した主な項目について掲載しています。

常 任 委 員 会

レポート 1月~3月

総務・文教

町は、(仮称) えんがる町民センター建設に向けた検討協議会を設立し、町民の皆さんの意見を取り入れながら、町民の皆さんに「愛される」施設になるよう検討を行っています(3月末現在で、4回の検討会議が開かれています)。

メインホールはいかにあるべきか？

「メイン」ホールと呼称されるように、本施設の主となるものであることから、一番重要な検討事項です。

利用目的の案としては、バレエの発表会、ダンス、吹奏楽等の演奏会及び練習、演劇、式典、講演会などが挙げられている。

今後、これをベースに検討協議会で議論し、基本設計内容を決定します。

「愛される」施設を

(仮称) えんがる町民センター
建設検討協議会議論本格化!!

視察の様子
遠軽町にマッチするか



用地買収交渉や旧中央病院解体などの進捗状況は

① 用地買収

用地買収の進捗状況については、必要な土地のおおむね70%について内諾及び契約済みであり、順調に進んでいます。

② 旧中央病院の解体

費用については平成29年度の当初予算で2億2656万円を計上しました。解体工事の工期は今年の6月から翌年の3月までとなっています。

この案件のほかに審議された案件は次のとおりです。

- ・ 遠軽IC道の駅周辺施設整備
- ・ 条例の制定及び一部改正に係る審議
- ・ 第3次遠軽町行政改革推進計画、遠軽町エネルギービジョン、遠軽町住生活基本計画・町営住宅長寿命化計画等の計画に係る審議
- ・ 委員会を4回開催、案件36件について審議しました。

常任委員会

レポート 1月~3月

民生

遠軽厚生病院の産婦人科で昨年11月に1年1か月ぶりに元気な赤ちゃんが生まれ、地域医療について嬉しいニュースがあったばかりですが、丸瀬布及び白滝地域医療の軸を担っている丸瀬布厚生病院が平成30年4月から無床診療所に転換する旨、2月に北海道厚生連から通知がありました。

北海道厚生連に地域医療の充実を引き続き要望

今回の通知は、遠軽地区の継続的な医療の確保と経営の安定化を図るためには、無床診療所への転換が最も効果のある経営対策であるとの結論から、理事会で決定されたとのこと。

町としては、合併前から現在に至るまで、同病院に対し運営費の損失負担、医師配置負担、建設費の補助等を行うとともに、前院長が65歳の時に70歳までの定年延長の要

請を行うなど、地域医療の充実を努めてきました。町は、引き続き診療体制の維持や入院患者の対応及び職員の雇用の確保

等について適切に行われよう、北海道厚生連に対して要望を行うとのことです。

地域医療を考える

丸瀬布厚生病院無床化について



地域医療の拠点として

丸瀬布厚生病院の歩み

- ・ 昭和21年6月 北農丸瀬布厚生診療所として発足(病床数6)
 - ・ 昭和27年6月 丸瀬布国保直営病院新築、北海道厚生連が経営委託(病床数33)
 - ・ 昭和33年5月 丸瀬布国保病院を経営委託し、北海道厚生連丸瀬布厚生病院として再発足(病床数43)。
 - ・ 平成7年4月 人間ドックの開始、医局の移設
 - ・ 平成10年12月 在宅介護支援センター設置
 - ・ 平成16年9月 病院新築工事竣工(療養病棟新設30床、一般病棟20床)
 - ※丸瀬布厚生病院ホームページから抜粋
- この案件のほかに委員会を4回開催、案件28件について審議しました。

常任委員会

レポート 1月~3月

経 済

遠軽町にある「社会福祉法人北海道家庭学校」に『1964年東京オリンピックゆかりの樹木展示林』があることがわかりました。

これは1964年（昭和39年）東京オリンピック開催時に、世界各国の選手たちが樹木の種子（22か国24種）を持参、このうち北方系の樹種を国や道の試験機関で育苗し、昭和43年に家庭学校所有の山林に植樹されて「樹木展示林」として現在まで管理されているものです。

これを守る『2020年東京オリンピック』で活用することについて協議検討しています。

協議会においては、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において、木材としての活用のほか、観光資源や環境面でも活用及び発信をしていくことを確認。現地調査の結果、樹木本数は162本あり（トナリヒ類、パイン類）、平均樹高24m、平均胸高直

径34cmでした。この案件のほかに委員会を4回開催、案件37件について審議しました。

半世紀前の記憶再び

1964東京オリンピック

遠軽町展示林活用を検討



スポーツの祭典を通じて活用

このほかの委員会の開催状況

■議会運営委員会

4 回開催

○主な審議項目

- ・議会改革活性化特別委員会調査の進捗状況
- ・佐呂間町議会「議会基本条例について」視察対応
- ・定例会及び臨時会に係る議案及び議事日程について
- ・陳情等について
- ・議会葬について
- ・平成29年第2回遠軽町議会（定例会）審議について
- ・議会葬等のあり方について

■議会改革活性化特別委員会

3 回開催

○主な審議項目

- ・委員会報告書のまとめについて
- ・その他

■広報特別委員会

3 回開催

- ・議会だよりの編集

木の優しさを後世に残したい



○遠軽地域在住

網走西部森林管理署
上丸瀬布森林事務所

○清水川 (37歳)
一儀 さん

清水川さんは、森林管理署森林官として上丸瀬布地区を担当され、勤務される傍ら、連合遠軽副会長としても活躍しています。

さらに、昨年12月から(仮称)町民センター検討協議会委員としても町おこしの視点から議論に参画されています。

秋田県で生まれ、色々な



「僕は現場の人間なんです。」と、清水川さん

地域で仕事をされてきたと聞きました。

「木に対する強い愛着心があります」

出身は秋田県の奥羽山脈にある山間地域で、実家が林家だった関係から旧営林署に奉職しました。新潟県、群馬県、北海道、と渡り、上川管内の和寒町、下川町でこの間の山の仕事に携わってきました。

その中で、特に下川町は先進的で木の売れないこの時代にあつて、木質バイオマスの活用など木を使つてもらおう取組みが行われていました。

また、町との連携においては密接な関係が構築されていることに感銘を受けました。

遠軽町においても、オリンピックの森、ピアノの森などの事業が行われており、自身も植樹などを通じて関わりがあります。

「そういつたときに思うのは、大きく育って欲しい」「立派な材に育って欲しい」という、木に対する愛着みたいなものがあります。木と触れていると優しい気持ちになります。何としても立派な木を後世に残したいと思います。

遠軽町に対してどのような印象をお持ちですか？
また、どのような町になつて欲しいですか。

「暮らしやすい町であつて欲しい」

イベントが多いと感じたのと、今まで住んできた地域と違い、何でも揃つている、というのが率直な印象です。

しかし、これから人口減少に向かう中で、不安な面もあります。今までどおり暮らしやすい町であつて欲しいと思います。

(仮称)えんがる町民センター検討協議会委員に応募されたそうですが、

「温もりを感じられる町民センターに」

応募した理由は、働く人の立場や、一利用者としての立場から何か協力できることはないかと思

つたからです。

しかし、音楽ホールのあり方、機能といった専門的な分野になると中々ついていけないというのが正直なところなんです。

そのようななか、3月に委員会視察にも行かせてもらい、私自身の勉強にもなりました。

視察先の名寄市の施設は、子どもや障害を持つ方々への配慮が行き届いており、参考にすべきだと感じました。

また、仕事柄もありますが、木材、特に地元材をふんだんに使つた、温もりを感じられるようなそんな施設になつたら良いなと思います。

最後に議会に対する印象などあればお聞かせください。

「若者が魅力を感じられるような議会に」

ホームページなどで情報発信されていますが、全般的に固いという印象があります。

抽象的な表現ではあります。若い人が関心を持ってもらえるような何かがあれば良いな、と思います。

編集後記

表紙の写真は3月19日、旭川・紋別自動車道「丸瀬布IC」遠軽瀬戸瀬IC間「開通記念ウォーキング」が開催された模様です。

春は別れと出会いの季節と言われるとおり、仕事の都合等、人それぞれさまざまな事情で遠軽町を離れたり、新たに入ってきたりします。

その方々を送迎していると、それぞれの選択が、人生という「道」であることを気付かされます。この記念写真に納まっている皆さんの前には、どのような道があるのでしようか。

町と皆さんがこれから進む道は「花道」であることを願っています。

広報特別委員会

- 委員長 岩澤 武征
- 副委員長 松田 良一
- 委員 佐藤 昇
- 委員 秋元 直樹